

試験会場番号	
--------	--

第17回

社会福祉会計簿記認定試験

解答用紙

上級（財務管理）

（令和3年12月5日施行）

	該当する項目に☑をご記入ください				
	<input type="checkbox"/> 社会福祉法人役員		<input type="checkbox"/> 会計事務所職員		
	<input type="checkbox"/> 社会福祉法人（社協以外）職員		<input type="checkbox"/> 公務員		
	<input type="checkbox"/> 社会福祉協議会職員		<input type="checkbox"/> 学生		
	<input type="checkbox"/> 金融機関職員		<input type="checkbox"/> 会社員（役員を含む）	<input type="checkbox"/> その他（ ）	
受験番号		氏名		得点	

1

記載例	×××率	12.3%
	×××回転率	1.5 回転
①	流動比率	%
②	人件費率	%
③	固定長期適合率	%
④	経費率	%
⑤	総資産回転率	回転
⑥	減価償却費率	%
⑦	純資産比率	%
⑧	従事者 1 人当たりサービス活動収益	千円
⑨	総資産サービス活動増減差額率	%
⑩	労働分配率	%

2

(1)

解答例	×年間の場合	購入	の合計が	225	万円と最も有利である。
1	1年間の場合		の合計が		万円と最も有利である。
2	3年間の場合		の合計が		万円と最も有利である。
3	6年間の場合		の合計が		万円と最も有利である。

(2)

(単位：円)

	外部委託にした場合の差額原価
①割増退職金の発生	△8,000,000
②直接人件費の減少	
③業務委託費の発生	
④直接経費の減少	
差額原価	

結論

外部委託した場合、10年間で (万円) (有利 ・ 不利) となる。

(3)

目標製造販売個数	個
目標売上高	円

4

(1)

F 法人の要約貸借対照表

令和 14 年 3 月 31 日現在

(単位：千円)

現金預金	80,000	事業未払金	33,500
事業未収金	54,499	1年以内返済予定設備資金借入金	()
その他の流動資産	2,350	その他の流動負債	1,230
土地(基本財産)	72,000	設備資金借入金	()
建物(基本財産)	()	基本金	96,000
車輜運搬具	()	国庫補助金等特別積立金	()
器具及び備品	()	施設整備等積立金	()
施設整備等積立資産	()	次期繰越活動増減差額	()
その他の固定資産	1,870		
資産の部合計	()	負債及び純資産の部合計	()

(2)

① 10年間(令和4年4月1日から令和14年3月31日まで)の合計額

事業活動計算書 当期活動増減差額 () 千円

減価償却費 () 千円

国庫補助金等特別積立金取崩額 (△) 千円

資金収支計算書 積立資産積立支出 () 千円

② 増築に必要な自己資金は、令和14年3月31日現在の施設整備等積立資産で
(確保できた ・ 確保できなかった)。

なお、施設整備等積立資産の令和14年3月31日現在の残高は、増築に必要な自己資金に
対し () 千円 (超過 ・ 不足) している。

③ ①において、令和 4 年度以降毎年度、令和 4 年 3 月 31 日現在の現金預金残高 80,000 千円を超えた金額を施設整備等積立資産に積み立てていることから、資金収支計算書の 10 年間の「積立資産積立支出」の合計額は、10 年間の資金増加額の合計額を意味している。当該金額が、事業活動計算書の「当期活動増減差額」よりも多額となっているのは、減価償却の（ ）機能に基づくものであり、減価償却費相当額の資金が法人内部に留保された結果である。

なお、社会福祉法人の場合、（ ）の計上により、減価償却の（ ）の機能は（ 増進 ・ 減退 ）されることになる。

